TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

東京湾の交通管理に関する研究：海上交通シミュレーションによる安全性評価

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2017-06-27
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 福田, 友子
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/1451

［課程博士］（博士論文審査及び最終試験の結果要旨）

学生氏名：福田　友子
博士論文題目：東京湾の交通管理に関する研究　―海上交通シミュレーションによる安全性評価―

博士論文審査：
　学生から提出された博士論文について、公開発表会が２月１４日に行われ、審査委員と学生の間で質疑応答が繰り返しなされ、博士論文としての質を十分に確保しているとの結論に至った。特に、海上交通シミュレーションにおける待ち行列の導入については各審査委員から高い評価を得た。
　本研究は東京湾の交通管理の一元化に関する論文で、海上交通シミュレーションによって、入湾時刻のスケジューリングや安全性の評価ができるようになることを目的としている。実データとの比較評価を、ネットワークの形成・交通流再現・安全性評価で実施した。東京湾内で遭遇の可能性のあるポイント比較の結果では、実際とシミュレーションでおおむね一致する結果を得ている。
　これらのシミュレーションの成果は、船舶の速力が頻繁に変化する環境下で性能が出るかの課題があるものの、今後の東京湾海上交通の一元化の発展に大きく貢献する優れた研究といえる。
　以上の内容から、学生から提出された博士論文は、国内外の研究の水準に照らし、各研究分野における学術的意義、新規性、独創性及び応用的価値を有しており、博士の学位に値することを審査委員一同確認した。

最終試験の結果要旨：
　最終試験は２月１４日に行われた。審査委員一同出席の下、学生に対して、博士論文の内容について最終確認のための質疑応答を行い、その内容は十分であった。一方、専門知識については公開発表会当日の質疑応答時や予備審査時でのディスカッションを含め十分であると審査委員一同確認した。
　学術論文は１編が第一著者として公表済み（福田 友子，久保 信明，稲田 健二，田丸 人意，日本航海学会，Vol. 135，pp.108-114，2016）であることを確認した。
　２編の発表論文は英語で書かれており、かつ、国際会議において英語で発表しており、英語の学力については問題ないと判断した。
　合同セミナーについて、規定の学習時間および出席回数を満たしていることを確認した。
　大学院海洋科学技術研究科が指定した研究者倫理教育を修了していることを確認した。